

# 第132年学術大会（2025熊本大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月14日（日）午前

会場	第1会場（全学E棟1階・E105）	第2会場（全学E棟1階・E107）	口頭第3会場（全学E棟2階・E201）
	<b>T9. 大地と人間活動を楽しみながら学ぶジオパーク</b> 座長：郡山 鈴夏(フォッサマグナミュージアム), 山崎 由貴子(日本ジオパークネットワーク事務局)	<b>T1. 変成岩とテクトニクス</b> 座長：足立 達朗(九州大学), 北野 一平(北海道大学総合博物館)	<b>G. ジェネラルサブセッション地学教育・古生物・応用地質</b> 座長：高嶋 礼詩(東北大学), 西山 賢一(徳島大学), 加瀬 善洋(北海道立総合研究機構)
8:45		08:45~09:00 <b>T1-O-1 (エントリー)</b> 地球化学モデリングによる飛騨帯ジュラ紀深成岩類の成因の再検討. *三上 航大 <sup>CS</sup> , 水上 知行	
		09:00~09:15 <b>T1-O-2 (エントリー)</b> 宮崎県, 尾鈴山酸性岩体に産するS-type花崗岩類における下部地殻の部分熔融と組成変化. *北代 拓人, 志村 俊昭	
		09:15~09:30 <b>T1-O-3 (エントリー)</b> 鳥取県大山に産する変成花崗岩ゼノリスから示唆される山陰地域の地下岩石構造. *高橋 瑞季, 遠藤 俊祐, 中野 伸彦, 足立 達朗	
		09:30~09:45 <b>T1-O-4</b> 鳥根県雲南地域, 金成変成岩に産する亜鉛スピネル+石英+紅柱石の共生. *志村 俊昭, 山根 季里, 郷田 翔一	
		09:45~10:00 <b>T1-O-5 (エントリー)</b> 東南極セール・ロンダーネ山地プラットニーパネに産するザクロ石-黒雲母片麻岩中の超高温変成作用を示唆するルチル. *権藤 洗人, 河上 哲生, 東野 文子, 足立 達朗, 宇野 正起	
		10:00~10:15 <b>T1-O-6</b> ボヘミア地塊東部に産するザクロ石かんらん岩の変成温度圧力条件. *中村 大輔, 吉田 現	
		10:15~10:30 休憩	
		10:30~11:00 <b>T1-O-7 (招待講演)</b> 中・古生代における北東アジアのテクトニクスと原日本列島の起源. *川口 健太	
		11:00~11:15 <b>T1-O-8 (エントリー)</b> 舞鶴帯北帯に産する河守変成岩のP-T履歴とU-Pb年代が示す東アジアのテクトニクス. *室井 颯太 <sup>CS</sup> , 川口 健太, Das Kaushik, 中野 伸彦, 早坂 康隆	
		11:15~11:30 <b>T1-O-9</b> Hydrothermal Alteration and Porosity Evolution of Lower Crust: Plagioclase Replacement by Epidote in the Khantaisir ophiolite, Western Mongolia. *OTGONBAYAR DANDAR <sup>CS</sup> , ATSUSHI OKAMOTO, MASAOKI UNO, NORIYOSHI TSUCHIYA	
		11:30~11:45 <b>T1-O-10</b> 九州北西部雷山-糸島半島周辺の高温型変成岩の温度圧力構造と領家火山弧西方延長の可能性. *宮崎 一博, 村岡 やよい, 池田 剛, 西山 忠男	
		11:45~12:00 <b>T1-O-11</b> K-Ar geochronology of Abukuma metamorphic belt in NE Japan: towards a formation model of the plutonic metamorphic belt over 1,000km. *板谷 徹丸	
	10:00~10:15 <b>T9-O-1</b> 秋田県八峰町, 泊海岸の上部中新統~鮮新統「素波里安山岩」にみられる枕状溶岩と偽枕状溶岩の共存の意義. *橋本 純, 安井 光大, 相澤 正隆, 井村 匠, 星出 隆志, 畠山 富昌, 秋元 裕子, 勝長 あかね, 勝長 嘉, 菊地 真由美, 齊藤 誠悦, 鈴木 和人, 鈴木 悟, 瀧本 孝子, 西出 静, 花下 哲, 藤枝 忠靖, 米森 咲, 澤藤 凌太, 林 信太郎		
	10:15~10:30 <b>T9-O-2</b> 鉱物教科書から探るヒスイ輝石岩(硬玉)とネフライト(軟玉)の呼称の歴史. *小河原 孝彦		
	10:30~10:45 <b>T9-O-3</b> 博物館特別展「ナウマン博士とひも解く日本の地質学の原点と未来」開催報告. *郡山 鈴夏, 香取 拓馬, 小河原 孝彦, 茨木 洋介, 竹之内 耕		
	10:45~11:00 休憩		
	11:00~11:15 <b>T9-O-4 (エントリー)</b> 江戸時代末期に因幡で活躍した石工「川六」の石造物に使われている玄武岩石材と鳥取市青谷町丸山崎の岩石の比較. *榎村 彩羽 <sup>CS</sup> , 川村 教一, 佐野 恭平		
	11:15~11:30 <b>T9-O-5</b> 山陰海岸ユネスコ世界ジオパークにおける, 地質遺産サイトの定義と管理の現状と課題~IUGSによる地質遺産の国際的な重要性に関する評価ガイドラインを受けて~. *松原 典孝, 藤原 勇樹		
	11:30~11:45 <b>T9-O-6</b> 室戸ユネスコ世界ジオパークにおける地域連携自然科学リテラシー教育. *岩井 雅夫, 小笠原 翼, 柿崎 喜宏, 新名 阿津子, 村山 雅史		
	11:45~12:00 <b>T9-O-7</b> DEEP TIMEとSHALLOW TIMEをつなぐ物語-『大地と人の物語』発行の意義-. *天野 一男		
			09:15~09:30 <b>G-O-1</b> 「石灰岩の文鎮」は地学教育に活用可能か? *星木 勇作
			09:30~09:45 <b>G-O-2</b> 地質図Naviを活用した「身近な地形と地質」を学ぶ授業案と中学校での実践. *栗原 行人, 前田 夏希, 津田 智康
			09:45~10:00 <b>G-O-3</b> 花粉に基づいた房総半島のMIS 19前後(80-75万年前)の古植生変遷 ~チバニアンGSSPの進展および完新世(MIS 1)との古気候比較. *奥田 昌明, 羽田 裕貴, 菅沼 悠介, 岡田 誠
			10:00~10:15 <b>G-O-4</b> 形状座標から復元したアンモノイドの形態的多様性変動史. *生形 貴男
			10:15~10:30 休憩
			10:30~10:45 <b>G-O-5</b> 泥岩の物性とスレーキング特性がのり面安定性に及ぼす影響. *関口 将司, 小林 俊一, 熊 曠
			10:45~11:00 <b>G-O-6</b> 宮崎県宮崎市曾井第2遺跡で見出したイベント堆積物とその応用地質学的意義. *加瀬 善洋, 伊尾木 圭衣, 山下 裕亮
			11:00~11:15 <b>G-O-7</b> 斜面災害のリスク評価に資する九州の接触変成マップの作成. *斎藤 真, 片桐 星来, 村岡 やよい
			11:15~11:30 <b>G-O-8 (エントリー)</b> 力学的な断層の活動性評価であるスリップテンデンスー(ST)を用いた地質断層の現世応力場における潜在的な活動性の評価~中国地方の断層を例に~. *島田 昌弥, 向吉 秀樹
			11:30~11:45 <b>G-O-9</b> 阿蘇火砕流台地に分布するテフラ層にみられるノンテクトニック構造. *西山 賢一, 山崎 新太郎, 星住 英夫, 川畑 大作, 横田 修一郎
			11:45~12:00 <b>G-O-10 (エントリー)</b> 2023年7月の梅雨前線豪雨に伴って九州北部で発生した斜面崩壊. *佐伯 拓馬, 宮縁 育夫, 木戸 道男, 星住 英夫

※講演番号は、トピックセッション(T)、ジェネラルセッション(G)のそれぞれに、ポスター(P)/口頭(O)の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※\*太字氏名:代表発表者,(エントリー):学生優秀発表賞エントリー講演,<sup>CS</sup>ダイバーシティ認定ロゴ [Early Career Scientist]

第132年学術大会（2025熊本大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月14日（日）午前

会場	第4会場（全学E棟2階・E203）	第5会場（全学E棟2階・E205）	第6会場（全学E棟3階・E305）
	<b>G. ジェネラルサブセッション第四紀</b>	<b>T12. 地球史</b>	<b>T2. マグマソース・マグマ供給系から火山体形成・熱水変質まで</b>
	座長：渡邊 正巳(文化財調査コンサルタント株式会社), 卜部 厚志(新潟大学災害・復興科学研究所), 高清水 康博(新潟大学教育学部)	座長：見邨 和英(産業技術総合研究所), 佐々木 聡史(群馬大学), 桑野 太輔(京都大学)	座長：齊藤 哲(愛媛大学), 江島 圭祐(山口大学創成科学研究科), 草野 有紀(産総研地質調査総合センター)
8:45			
	09:30~09:45 <b>G-O-11</b> 輝石および鉄酸化鉱物のSEM-EDXによる自動分析に基づく砂の法地質学的識別. * <b>杉田 律子</b>	09:00~09:15 <b>T12-O-1</b> 房総半島南端に分布する海成鮮新統における地磁気エクスカージョンの検出とその意義. * <b>谷元 瞭太</b> <b>ECS</b> , 岡田 誠	09:15~09:30 <b>T2-O-1</b> 水蒸気噴火を発生する火山下の難透水層試料の岩石・鉱物学的特徴—霧島硫黄山の例. * <b>草野 有紀</b> , 井村 匠, 古川 竜太, 山元 孝広, 石塚 吉浩, 伊藤 順一, 松島 喜雄, 朝比奈 大輔, 阪口 圭一
	09:45~10:00 <b>G-O-12</b> 介形虫群から過去の洪水履歴を復元する—2020九州豪雨を例に—. * <b>田中 源吾</b>	09:15~09:30 <b>T12-O-2</b> Reconstructing ice sheets during the last glacial cycle with relative sea level data. * <b>Evan James GOWAN</b> Anna Hughes Richard Gyllencreutz Jan Mangerud John Inge Svendsen Jo Brendryen Riccardo Riva	09:30~09:45 <b>T2-O-2</b> 熱水系卓越火山における異常とその斑岩システムの解釈. * <b>萬年一剛</b>
	10:00~10:15 <b>G-O-13</b> 平成28年（2016年）熊本地震後に枯渇した湧水の回復状況について ~阿蘇カルデラ中央火口丘南麓における湧水の事例~. * <b>山田 茂昭</b> , 岸 智, 寺田 剛, 龍 徹, 佐藤 透	09:30~09:45 <b>T12-O-3</b> 機械学習を用いた微化石画像群のデータ構造抽出：データ駆動型のイクチオリス層序学確立に向けて. * <b>見邨 和英</b> , 中村 謙太郎, 安川 和孝	09:45~10:00 <b>T2-O-3</b> 北部九州花崗岩バソリスを構成する半深成岩体の組成変化とその存在意義. * <b>江島 圭祐</b>
	10:15~10:30 <b>G-O-14</b> 北海道藻琴湖における碎屑性年縞堆積物分析による過去100年の炭素フラックスの変化. * <b>瀬戸 浩二</b> , 香月 興太, 園田 武, 安藤 卓人, 仲村 康秀	09:45~10:00 <b>T12-O-4</b> 中期原生代に生じた大気海洋の一時的富酸素化と大規模火成活動の関連性. * <b>尾崎 和海</b> , 渡辺 泰士	10:00~10:30 <b>T2-O-4 (招待講演)</b> 日本におけるエビ閃長岩の発見とその意義. * <b>西本 昌司</b>
	10:30~10:45 <b>G-O-15</b> 大山北麓岩伏し遺跡の古植生変遷. * <b>渡邊 正巳</b> , 松本 直子, 杉山 真二, 奥中 亮太, 別所 秀高	10:00~10:15 <b>T12-O-5</b> 古太古代海洋における窒素循環：32.5億年前のパーバートン帯マペベ層黒色頁岩の窒素同位体比. * <b>元村 健人</b> <b>ECS</b> , 佐野 貴司, 清川 昌一	10:30~10:45 <b>T2-O-5 (エントリー)</b> 愛媛県芸予諸島伯方島に産するエビ閃長岩：高温熱水流体による花崗岩類の変質と元素の移動・濃集. * <b>福井 望子</b> <b>ECS</b> , 下岡 和也, 高橋 俊郎, 齊藤 哲
	10:45~11:00 休憩	10:15~10:45 <b>T12-O-6 (エントリー)</b> 多指標分析に基づく前期更新世の北西太平洋の高時間解像度古環境復元. * <b>石井 義弘</b> , 宇都宮 正志, 羽田 裕貴, 乾 睦子, 泉賢太郎	10:45~11:00 休憩
	11:00~11:15 <b>G-O-16</b> 島尻層群および知念層中の浮遊性有孔虫化石群集に基づく後期中新世から前期更新世にかけての中琉球弧付近の黒潮変動. 長間 祐介, 有元 純, 西田 尚央, * <b>藤田 和彦</b>	11:00~11:15 <b>T12-O-7 (エントリー)</b> 下部更新統大桑層のアルケノンに記録された日本海沿岸域の表層環境変動. * <b>西山 烈</b> , 北村 晃寿, 長谷川 卓	11:00~11:15 <b>T2-O-6</b> Geofluid mapping based on simultaneous analysis of seismic velocity and electrical conductivity: the connection between magmas, fluids, volcanoes, and earthquakes. * <b>岩森 光</b> , Geofluid Mapping Team
	11:15~11:30 <b>G-O-17 (エントリー)</b> 大型底生有孔虫を用いた知念層の堆積環境指標の提案と古水深復元. * <b>日比 絵里奈</b> <b>ECS</b> , 藤田 和彦	11:15~11:30 <b>T12-O-8 (エントリー)</b> 前期三疊紀後期（オレネキアン期）のスマシアン亜期とスパシアン亜期の境界期における低緯度域遠洋深海底の古環境復元. * <b>松井 和己</b> , 高橋 聡, 市村 駿汰, 武藤 俊, 山北 聡	11:15~11:30 <b>T2-O-7</b> 島弧超苦鉄質捕獲岩の岩石学的特徴：ピナツボ火山岩中の例. * <b>森下 知晃</b> , 古口 航, 秋澤 紀克, 福山 繭子, 田村 明弘, 水上 知行
	11:30~11:45 <b>G-O-18</b> 福島県南相馬市小高区井田川浦におけるイベント堆積物. * <b>卜部 厚志</b> , 高清水 康博, 田口 小桃	11:30~11:45 <b>T12-O-9 (エントリー)</b> 関東山地山中層群における白亜紀アプチアン—アルビアン境界付近のオスミウム同位体層序. * <b>塚田 結衣</b> <b>ECS</b> , 藤野 滋弘, 松本 廣直, 鈴木 勝彦	11:30~11:45 <b>T2-O-8</b> 小笠原前弧母島海山のテクトニクス（予察）. * <b>道林 克禎</b> , 夏目 樹, 片山 郁夫, 藤江 剛
	11:45~12:00 <b>G-O-19</b> 福島県南相馬市小高区蛭沢地域に分布する沖積層の古環境変遷と古津波履歴の解明. * <b>高清水 康博</b> , 河崎 陸, 卜部 厚志	11:45~12:00 <b>T12-O-10 (エントリー)</b> インド洋におけるデカン洪水玄武岩噴出イベント期の海水オスミウム同位体層序. * <b>太田 映</b> <b>ECS</b> , 黒田 潤一郎, Maria Tejada, 鈴木 勝彦, 久保 雄介, 石川 晃	

※講演番号は、トピックセッション (T)、ジェネラルセッション (G) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※ \* 太字氏名：代表発表者, (エントリー)：学生優秀発表賞エントリー講演, **ECS**ダイバーシティ認定ロゴ [Early Career Scientist]



第132年学術大会 (2025 熊本大会) 講演プログラム (口頭)

■ 9月15日 (月・祝) 午前

会場	第1会場 (全学E棟1階・E105)	第2会場 (全学E棟1階・E107)	口頭第3会場 (全学E棟2階・E201)
	<b>T3. 文化地質学</b>	<b>T1. 変成岩とテクトニクス</b>	<b>T8. 原子力と地質科学</b>
	座長：猪股 雅美(広島工業大学), 坂本 昌弥(九州ルーテル学院大学)	座長：LAKSHMANAN Sreehari(Shimane U), 大柳 良介(国士館大学)	座長：竹内 真司(日本大学), 吉田 英一(名古屋大学), 梅田 浩司(弘前大学)
8:45		08:45~09:00 <b>T1-O-12 (エントリー)</b> Metamorphic History of Serpentinite and Amphibolite in the Sangun-Renge Belt exposed at Sasaguri, Fukuoka Prefecture. *Swarnaa ANNADURAI MUNUSAMY, Jun-ichi ANDO, Kaushik DAS, Dyuti Prakash SARKAR, Seiichiro UEHARA	08:45~09:15 <b>T8-O-1 (招待講演)</b> 沿岸部を対象とした地層処分研究の現状と課題. *井川 怜欧
	09:00~09:15 <b>T3-O-1</b> 収束型・衝突型変動帯の地質と文化形成. *鈴木 寿志	09:00~09:15 <b>T1-O-13 (エントリー)</b> 沖縄県慶良間諸島「阿嘉島剪断帯(新称)」にみる沈み込み帯深部プレート境界剪断帯の形成過程と歪分布. *高橋 慧, 山口 飛鳥, 大坪 誠	09:15~09:30 <b>T8-O-2</b> 地層処分の安全評価に向けた長期的な自然現象の確率論的評価手法の高度化. *後藤 淳一, 田窪 勇作, 三枝 博光, 稲倉 寛仁, 河村 秀紀
	09:15~09:30 <b>T3-O-2</b> 高知県室戸地方で生産された硯(土佐石)の地質とその文化誌. *中山 健, 柿崎 喜宏	09:15~09:30 <b>T1-O-14 (エントリー)</b> ドローン磁気探査による蛇紋岩分布の抽出: 赤石山地北部・三波川帯の例. *國谷 七海, 森 宏, 宿輪 隆太, 安井 悠人, 延原 香穂, 大熊 茂雄, 宮川 歩夢, 常盤 哲也, 小澤 和浩, 山岡 健, 永治 方敬, 村上 大知	09:30~09:45 <b>T8-O-3</b> 地層処分の安全評価に向けた地下環境の状態変化を考慮した地質学的視点. *大坪 誠
	09:30~09:45 <b>T3-O-3</b> 伝統的な和紙製法における石灰利用の科学的評価: 高知県の石灰岩地質と土佐和紙づくり. *浦本 豪一郎, 北岡 竜之, 笹岡 美穂	09:30~09:45 <b>T1-O-15 (エントリー)</b> 接触変成作用による超マフィック岩の微量元素組成変化: 西南日本内帯, 多里-三坂岩体の例. *鳴海 慎人, 市山 祐司, 田村 明弘, 森下 知晃	09:45~10:00 <b>T8-O-4</b> 花崗岩冷却過程と物質移行経路形成の関係. *笹尾 英嗣, 湯口 貴史
	09:45~10:00 <b>T3-O-4</b> Abu Gerida - Hamama: a unique area of iron archaeometallurgy in Ancient (318-207 BC) Egypt. *Yasser Medhat Hassan Abdelrahman Vincent Serneels	09:45~10:00 <b>T1-O-16</b> 赤石山地北部・三波川帯における接触変成岩中炭質物のラマン分光分析を用いた石墨化度の不均質性検出. *森 宏, 早川 由帆, 田口 知樹, 山岡 健, 小澤 和浩, 延原 香穂, 中澤 明子, 高木 大成, 常盤 哲也	10:00~10:15 <b>T8-O-5</b> 長期的な地形変化や海水準変動を考慮した四次元地質環境モデル構築と地下深部の水理場・化学場への影響評価に関する検討. *高林 佑灯, 尾上 博則, 高畑 祐美, 鏡 顕正, 奥木 さくら, 橋本 秀爾, 松尾 重明, 三枝 博光
	10:00~10:15 <b>T3-O-5</b> 「いけず石」に用いられる石製品から探る地域文化. *中条 武司, 横山 康子, いけず石 調査グループ	10:00~10:15 <b>T1-O-17</b> ホルンフェルスの面構造・線構造解析: 丹沢山地でのケーススタディー. *増田 俊明, 田阪 美樹, 松本 拓己, 大嶽 良太, 倉科 萌, 楠 賢司, 酒井 瑞帆, 山下 浩之, 中村 俊文, 谷 圭司, 夏目 樹	10:15~10:30 休憩
	10:15~10:30 <b>T3-O-6</b> ダーウィンのサンゴ礁沈降説に反対したライン. *矢島 道子, 山田 直利	10:15~10:30 休憩	10:30~11:00 <b>T8-O-6 (招待講演)</b> JAEA東濃地科学センター 土岐地球年代学研究所における研究開発の現況. *石丸 恒存, 浅森 浩一, 花室 孝広, 川村 淳
	10:30~10:45 休憩	10:30~10:45 <b>T1-O-18 (エントリー)</b> PXRDスペクトルの次元圧縮を用いた後退変成作用の定量評価と空間パターンの可視化: 四国三波川変成帯の東五良津岩体周辺部の例. *田邊 凌雅, 松野 哲士, ダンダール オトゴンバヤール, 大坂 恵一, 宇野 正起, 岡本 敦	11:00~11:15 <b>T8-O-7</b> JAEA東濃地科学センター土岐地球年代学研究所における年代測定技術開発の現状. *花室 孝広
	10:45~11:15 <b>T3-O-7 (招待講演)</b> 人々の暮らしから読み解く, 阿蘇の文化的景観20年. *田中 尚人	10:45~11:00 <b>T1-O-19</b> 三波川帯樋口蛇紋岩体のバデレアイト集合体の記録するマントルウェッジの変質イベント時期. *沢田 輝, 大柳 良介, 仁木 創太, 吉田 一貴, 長田 充弘, 平田 岳史, 岡本 敦	11:15~11:30 <b>T8-O-8</b> 地下深部におけるマグマ等の高温流体の推定手法. *浅森 浩一, 雑賀 敦, 福田 将真, 末岡 茂, 梅田 浩司
	11:15~11:30 <b>T3-O-8</b> 遺産影響評価(HIA)のためのアトリビュートの定義と特性の整理 — 世界文化遺産登録を目指す「阿蘇」での試み —. *早坂 竜児, 新開 美穂, 熊本県 阿蘇草原再生・世界遺産推進課	11:00~11:15 <b>T1-O-20 (エントリー)</b> 沈み込み帯におけるスラブ-ウェッジマントル間カップリング深度の地質学的制約: ドラマイラ超高压変成岩ユニットの検討. *星 輝, ウォリス サイモン	11:30~11:45 <b>T8-O-9</b> 表計算ソフトを用いた断層のすべり方向のミスフィット角の計算. *島田 耕史
	11:30~11:45 <b>T3-O-9</b> 石材の再発見は, 地域の何を掘り起こすのか?: 文化地質学の視点から見た参加型調査の可能性. *田口 公則, 山下 浩之, 丹治 雄一, 西澤 文勝, 夏目 樹	11:15~11:30 <b>T1-O-21</b> 大分県佐賀関半島の高変成度岩ブロックを含む蛇紋岩メランジュの発見. *宮下 敦, 村上 丈司, 笠木 明, 辻森 樹	11:45~12:00 <b>T8-O-10</b> 御前崎沖の島が1854年安政東海地震の地震断層で沈没した可能性. *石渡 明
	11:45~12:00 <b>T3-O-10</b> 小豆島における自然災害伝承碑の立地と地形・地質のGIS的考察. *猪股 雅美	11:30~11:45 <b>T1-O-22</b> 長崎変成岩西彼杵ユニットと野母ユニットの蛇紋岩メランジュの比較成因論. *西山 忠男, 重野 未来, 森 康, 宮崎 一博	
		11:45~12:00 <b>T1-O-23</b> 蛇紋岩マトリックスの球状粒(スフェール)とその実験的研究. *鳥海 光弘	

※講演番号は, トピックセッション(T), ジェネラルセッション(G)のそれぞれに, ポスター(P)/口頭(O)の記号と各セッション内での通し番号を付与しています.

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

※\*太字氏名: 代表発表者, (エントリー): 学生優秀発表賞エントリー講演, ダイバーシティ認定ロゴ [Early Career Scientist]

第132年学術大会 (2025 熊本大会) 講演プログラム (口頭)

■ 9月15日 (月・祝) 午前

会場	第4会場 (全学E棟2階・E203)	第5会場 (全学E棟2階・E205)	第6会場 (全学E棟3階・E305)
	<b>T11. 都市地質学：自然と社会の融合領域</b>	<b>T12. 地球史</b>	<b>T2. マグマソース・マグマ供給系から火山体形成・熱水変質まで</b>
	座長：田村 嘉之(一般財団法人千葉県環境財団), 野々垣 進(産総研地質調査総合センター)	座長：桑野 太輔(京都大学), 元村 健人(九州大学), 富松 由希(福岡大学)	座長：齊藤 哲(愛媛大学), 江島 圭祐(山口大学創成科学研究科), 草野 有紀(産総研地質調査総合センター)
8:45		09:00~09:15 <b>T12-O-11</b> 北海道上ノ国町大安在川層より産出した中部中新統介形虫化石群とその意義. *向井 一勝 <sup>ECS</sup> , 山田 敏弘, 田中 源吾	09:15~09:30 <b>T2-O-9</b> ジルコンとメルト包有物を用いた花崗岩質マグマのメルト含水量・温度圧力条件・酸化還元状態見積り. *齊藤 哲, 居平 千穂, 川島 泰地, 谷脇 由華, 福山 繭子
	10:15~10:30 <b>T11-O-1</b> 都市域の3次元地質地盤図：「千葉県北部延長」地域における更新統下総層群の層序. *米岡 佳弥 <sup>ECS</sup> , 中澤 努, 野々垣 進, 中里 裕臣	09:15~09:30 <b>T12-O-12</b> 群馬県下仁田町鎗川沿いに分布する下仁田層の古環境復元 (予察). *佐々木 聡史 <sup>ECS</sup> , 初谷 康佑, 菊川 照英, 高桑 祐司, 瀬戸 浩二	09:30~09:45 <b>T2-O-10</b> 西南日本中新世花崗岩中のジルコンのLu-Hf isotope data : マグマ起源とテクトニクスの手がかりを探る. *礼満 ハフィーズ, 中林 真梨萌, 山下 大輔, CHUNG Sun-Lin, LEE Hao-Yang, 山本 啓司
	10:30~10:45 <b>T11-O-2</b> 中部更新統下総層群礫層の指標テフラに関する新知見. *中里 裕臣, 米岡 佳弥, 中澤 努, 田村 亨	09:30~09:45 <b>T12-O-13</b> シプマス地塊のベルム紀フズリナ群集とその古生物地理的解釈. *上野 勝美, Thasinee Charoentitirat	09:45~10:00 <b>T2-O-11</b> 近畿地方, 後期白亜紀有馬層群のジルコンU-Pb年代. *佐藤 大介
	10:45~11:00 <b>T11-O-3</b> 横浜市中心街の低地の地質構成と地盤震動特性：極めて軟弱な沖積層とその基盤をなす固い上総層群. *中澤 努, 長 郁夫, 野々垣 進, 尾崎 正紀, 坂田 健太郎	09:45~10:00 <b>T12-O-14</b> 独立成分解析による海洋組成の経年変化. *小宮 剛	10:00~10:15 <b>T2-O-12</b> 北上山地, 遠野複合深成岩体に産出するジルコンの結晶化条件から推定されるマグマ溜りプロセス. *小北 康弘, 坂田 周平, 大野 剛, 横山 立憲, 湯口 貴史
	11:00~11:15 <b>T11-O-4</b> 1923年関東地震時に臨海部で発生した地裂近傍の地質状況：館山市長須賀での地質調査から. *風岡 修, 小島 隆宏	10:00~10:15 <b>T12-O-15</b> グリーンランド・イスア表成岩帯に産する原太古代炭酸塩岩から推定する原太古代海水中の生命必須微量元素組成. *吉田 聡 <sup>ECS</sup> , 小宮 剛	10:15~10:30 休憩
	11:15~11:30 <b>T11-O-5</b> 大阪ベイエリアにおける都市地盤状況についての検討. *北田 奈緒子, 三村 衛	10:15~10:45 休憩	10:30~10:45 <b>T2-O-13 (エントリー)</b> 両白山地, 白山火山の角閃石から推定するマグマプロセス. *山内 大樹, 田村 明弘, 森下 知見
	11:30~11:45 <b>T11-O-6</b> 常時微動観測データによる微地形判別の可能性. *小松原 純子, 長 郁夫, 佐藤 善輝, 納谷 友規	10:45~11:15 <b>T12-O-16 (エントリー)</b> 美濃帯及び北部北上帯の層状チャートにおける中期三疊紀ラディニアン期湿潤化イベントの検討. *塩原 拓真 <sup>ECS</sup> , 武藤 俊, 尾上 哲治	10:45~11:00 <b>T2-O-14</b> 嶺岡帯の高Mg安山岩. *市山 祐司, 加藤 紬
	11:45~12:00 <b>T11-O-7</b> 常時微動計測は活断層研究にどこまで適用可能か. *小荒井 衛, 金子 朋紀, 中島 展之, 先名 重樹	11:00~11:15 <b>T12-O-17 (エントリー)</b> 根室層群 (北海道東部) のバイオマーカー分析: 暁新世中期の気候変動に着目した陸上及び海洋生態系の復元. *吉田 達也 <sup>ECS</sup> , 中村 英人, 林 圭一, 池田 雅志, 安藤 卓人	11:00~11:15 <b>T2-O-15</b> 熊本県天草上島老嶽プルトン周辺の高Mg安山岩岩床：瀬戸内火山岩類の西方延長の可能性. *新正 裕尚, 牛丸 健太郎, 岩野 英樹, 平田 岳史, 折橋 裕二, 佐々木 実
		11:15~11:30 <b>T12-O-18 (エントリー)</b> 川砂ジルコンの微量元素組成に着目した後背地推定法の検討：三河地域の領家花崗岩類を例に. *平井 悠河 <sup>ECS</sup> , 浅沼 尚, 澤木 佑介, 小木曾 哲	11:15~11:30 <b>T2-O-16</b> 非平衡溶融を被った花崗岩に見られる黒雲母の脱水・溶解反応. *川知 博, 山下 茂
		11:30~12:00 <b>T12-O-19 (招待講演)</b> 白亜紀堆積岩を用いたオントンジャワ海台の噴出年代の制約. *松本 直直	11:30~11:45 <b>T2-O-17</b> 山口県東部岩国-柳井地域に産する深成岩類の岩相変化. *大和田 正明, 宮下 由香里, 亀井 淳志, 小山内 康人, 北野 一平
			11:45~12:00 <b>T2-O-18</b> 白亜紀西南日本フレアアップの素過程解析：領家帯と山陽帯の花崗岩類. *中島 隆

※講演番号は、トピックセッション (T)、ジェネラルセッション (G) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※ \* 太字氏名：代表発表者, (エントリー)：学生優秀発表賞エントリー講演, <sup>ECS</sup>ダイバーシティ認定ロゴ [Early Career Scientist]

第 132 年学術大会 (2025 熊本大会) 講演プログラム (口頭)

■ 9 月 15 日 (月・祝) 午前

会場	第 7 会場 (全学 C 棟 3 階・C301)
	G. ジェネラルサブセッション地球化学・地域地質・層序
	座長：有元 純(産業技術総合研究所 地質調査総合センター), 宇野 康司(兵庫県立大学), 黒田 潤一郎(東京大学大気海洋研究所)
8 : 45	
	09:00~09:15 G-O-21 島根県大田市の海岸に転がるチャート礫より産出したペルム紀からジュラ紀にかけての放散虫化石とその意義. *古谷 裕  , 水上 隆, 水上 恒子, 半田 久美子
	09:15~09:30 G-O-22 白亜紀における西南日本の古地磁気極移動曲線の高精度化. *宇野 康司, 菅 遥輝, 古川 邦之
	09:30~09:45 G-O-23 紀伊水道徳島沖の海底下撓曲構造と重力異常. *有元 純, 宮川 歩夢
	09:45~10:00 G-O-24 伊豆半島西側斜面深海部域からの基盤岩類. *坂本 泉, 長嶮 百花, 古橋 皇, 新井 仁奈, 渡邊 聡士, 柴尾 創士, 横山 由香, 森 光貴, 佐藤 悠介, 棚橋 道郎
	10:00~10:15 G-O-25 関東山地北部跡倉ナップと秩父北帯との層序関係：3つの解釈. *竹内 圭史
	10:15~10:30 休憩
	10:30~10:45 G-O-26 東シナ海大陸斜面域における表層堆積物中のヘリウムの起源. *土岐 知弘, 與那嶺 竜勢, 鹿見島 涉悟, 高畑 直人
	10:45~11:00 G-O-27 (エントリー) 北海道苫小牧市に分布する黒ボク土の有機分子分析による形成過程の検討. *福地 亮介  , 沢田 健, 松井 昭
	11:00~11:15 G-O-28 オーストラリア北西大陸棚のブラウズ堆積盆地で産する天然ガスの起源と産状. *稲場 士誌典, 森田 宜史
	11:15~11:30 G-O-29 (エントリー) オーストラリア北西沖大陸棚に分布するドロマイトの形成過程. *葭井 功輔, 高柳 栄子, 若木 重行, REUNING Lars, 井龍 康文
	11:30~11:45 G-O-30 中部九州火山地域温泉水ストロンチウム同位体組成：マグマ経由火山性地殻流体とスラブ流体起源有馬型塩水の比較. *可児 智美, 森川 徳敏, 三澤 啓司, 中村 仁美
	11:45~12:00 G-O-31 Gold distribution in the Eastern Desert of Egypt and its relation to ophiolitic serpentinites from a Neoproterozoic accretionary complex. *Yasser Medhat Hassan Abdelrahman Atsushi Okamoto Abdel-Moneim EldougDoug Mohamed Gobashy

( 22 )

※講演番号は、トピックセッション (T)、ジェネラルセッション (G) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。  
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。  
 ※ \* 太字氏名：代表発表者, (エントリー)：学生優秀発表賞エントリー講演,  ダイバーシティ認定ロゴ [Early Career Scientist]

第132年学術大会（2025熊本大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月15日（月・祝）午後

会場	第1会場（全学E棟1階・E105）	第2会場（全学E棟1階・E107）	口頭第3会場（全学E棟2階・E201）
	<b>T3. 文化地質学</b>	<b>T10. テクトニクス</b>	<b>T4. 岩石・鉱物の変形と反応</b>
	座長：森野 善広(パシフィックコンサルタンツ株式会社), 大友 幸子(山形大学)	座長：向吉 秀樹(高根大学), 藤内 智士(高知大学), 濱田 洋平(海洋研究開発機構)	座長：宇野 正起(東京大学 大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻), 奥田 花也(海洋研究開発機構), 吉田 一貴(高エネルギー加速器研究機構)
15:00	<p>15:00~15:30 <b>T3-O-11 (招待講演)</b> たかが「石」されど「石」. *<b>一村 一博</b></p> <p>15:30~15:45 <b>T3-O-12</b> 岐阜県中津川市旭ヶ丘の句碑「六歌仙塚」の石材. *<b>朝倉 顯爾</b></p> <p>15:45~16:00 <b>T3-O-13</b> 鴨長明の方丈跡とされてきた方丈石に関する検討. *<b>松田 法子</b>, 藤岡 換太郎, 京谷 友也</p> <p>16:00~16:15 <b>T3-O-14</b> 大谷石を含む栃木県産凝灰岩質石材：その利用と質感について. *<b>橋本 優子ECS</b>, 相田 吉昭, 何 元元, 石川 智治</p> <p>16:15~16:30 休憩</p> <p>16:30~16:45 <b>T3-O-15</b> 石材名としての御影石について. *<b>先山 徹</b></p> <p>16:45~17:00 <b>T3-O-16</b> ポータブル型蛍光X線分光分析装置を用いた花崗岩建築石材の産地推定に向けて. *<b>乾 睦子</b>, 西本 昌司, 中澤 努, 山下 浩之, 平賀 あまな</p> <p>17:00~17:15 <b>T3-O-17</b> 旧兵庫農工銀行豊岡支店の外壁に使われている由良石の岩石学的同定. *<b>西本 昌司</b>, 乾 睦子, 山下 浩之, 松原 典孝</p> <p>17:15~17:30 <b>T3-O-18</b> 丹後半島に分布する近世～近代石造物の石材と鮮新世経ヶ岬層溶岩の比較. *<b>川村 教一</b>, 崎山 正人</p>	<p>15:00~15:30 <b>T10-O-1 (招待講演)</b> 海洋底から造山帯へ：三波川変成帯の深部付加プロセス. *<b>遠藤 俊祐</b>, 栗原 那知, 崎 海斗</p> <p>15:30~15:45 <b>T10-O-2</b> 西南日本白亜紀地質進化に対する海嶺沈み込みモデルの再検討. *<b>ウォリス サイモン</b></p> <p>15:45~16:00 <b>T10-O-3</b> 室戸半島, 暁新世～前期中新世四万十帯付加コンプレックスの後背地変遷. *<b>原 英俊</b>, 藤内 智士, 松元 日向子</p> <p>16:00~16:15 <b>T10-O-4</b> 秩父盆地と五日市盆地から得られたジルコンU-Pb年代と古地磁気方位：本州中部, 関東山地の新第三紀テクトニクスの新展開. *<b>星 博幸</b>, 松本 郁美, 岩野 英樹, 檀原 徹</p> <p>16:15~16:30 <b>T10-O-5 (エントリー)</b> 前弧海盆の変形構造から明らかにする海山沈み込みテクトニクス～新第三系宮崎層群における局所的な側方圧縮応力～. *<b>吉本 剛瑠ECS</b>, 山本 由弦</p> <p>16:30~16:45 <b>T10-O-6</b> 内陸断層の運動像からみた北信越地方の応力場とその空間変化. *<b>小林 健太</b>, 千葉 響, 高橋 啓太</p> <p>16:45~17:00 <b>T10-O-7</b> 熊本県 日奈久断層帯の完新世テクトニクス. *<b>横山 祐典</b>, タン エバン, 宮入 陽介, 白濱 吉起, 宮下 由香里</p> <p>17:00~17:15 <b>T10-O-8</b> 布田川断層帯における2種類の断層帯での平均活動間隔の相違. *<b>吉村 辰朗</b></p> <p>17:15~17:30 <b>T10-O-9</b> 2025年6月開始の悪石島地震活動と琉球海溝域のPlate運動歪の蓄積と解放. *<b>新妻 信明</b></p>	<p>15:00~15:15 <b>T4-O-1</b> 大西洋アトランティス岩体蛇紋岩化かんらん岩掘削孔中の物性変化について-IODP第399次航海U1601C孔の結果. *<b>阿部 なつ江</b></p> <p>15:15~15:30 <b>T4-O-2 (エントリー)</b> MgO水和膨張反応における反応-変形-流体流動のフィードバック：拘束条件の影響. *<b>坂下 福馬</b>, 岡本 敦, ダンダル オトゴンバヤル, 吉田 一貴, 奥田 花也, 宇野 正起</p> <p>15:30~15:45 <b>T4-O-3</b> 東北沈み込み帯アウターライズ域から採取された堆積物試料について高温高圧環境の保持による続成作用の再現と摩擦特性への影響に関する研究. *<b>井藤 隼斗ECS</b>, 岡崎 啓史, 上田 瑞貴, 濱田 洋平, 山口 飛鳥</p> <p>15:45~16:00 <b>T4-O-4 (エントリー)</b> 海山由来石灰岩の摩擦特性：沈み込み帯における地震活動との関係. *<b>関川 真佑子ECS</b>, 奥田 花也, 北村 真奈美, 高橋 美紀, 山口 飛鳥, 澤井 みち代</p> <p>16:00~16:15 <b>T4-O-5</b> 地震断層内部の静・動的物理化学プロセス解明に向けた回転式熱水摩擦試験機の開発. *<b>廣瀬 丈洋</b>, 奥田 花也, 谷川 亘, 濱田 洋平, 岡崎 啓史, Bedford John</p> <p>16:15~16:30 休憩</p> <p>16:30~16:45 <b>T4-O-6 (エントリー)</b> Slow-to-Fast地震発生帯の温度条件下での流体圧降下による断層バルブモデルの実験的再現と鉱物脈形成. *<b>戸田 涼斗ECS</b>, 宇野 正起, 岡本 敦</p> <p>16:45~17:00 <b>T4-O-7 (エントリー)</b> 南海トラフ地震発生帯における泥質片岩のレオロジー特性に関する実験的研究. *<b>八木 寿々歌</b>, 岡崎 啓史</p> <p>17:00~17:30 <b>T4-O-8 (招待講演)</b> スロー地震の地質学的痕跡を探る. *<b>氏家 恒太郎</b>, 矢部 優, 山崎 悠翔, Yeo Thomas, 駒木野 照太</p>

※講演番号は、トピックセッション (T)、ジェネラルセッション (G) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※ \* 太字氏名：代表発表者, (エントリー)：学生優秀発表賞エントリー講演, ECSダイバーシティ認定ロゴ [Early Career Scientist]

# 第132年学術大会（2025熊本大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月15日（月・祝）午後

会場	第4会場（全学E棟2階・E203）	第5会場（全学E棟2階・E205）	第6会場（全学E棟3階・E305）
	<b>T11. 都市地質学：自然と社会の融合領域</b>	<b>T7. 堆積地質学の最新研究</b>	<b>T13. 地域地質・層序学：経過と集大成</b>
	座長：中澤 努(産業技術総合研究所地質調査総合センター), 北田 奈緒子(GRI財団)	座長：松本 弾(産業技術総合研究所), 白石 史人(広島大学)	座長：野崎 篤(平塚市博物館), 羽田 裕貴(国立研究法人産業技術総合研究所地質調査総合センター)
15:00	<p>15:00~15:30 <b>T11-O-8 (招待講演)</b> 九州地盤情報共有データベースを用いた浅層地質の三次元モデル構築の試み. *<b>石原 与四郎</b></p> <p>15:30~15:45 <b>T11-O-9</b> Web APIを活用した地層対比システムの開発. *<b>櫻井 健一</b>, 米澤 剛, 根本 達也, 野々垣 進</p> <p>15:45~16:00 <b>T11-O-10</b> 堰き止め地形形成に関わる基盤地形. *<b>高嶋 洋</b></p> <p>16:00~16:15 休憩</p> <p>16:15~16:30 <b>T11-O-11</b> 能登半島に分布する珪質泥岩の単位体積重量と地震時の地すべり移動量との関連性. *<b>楠本 岳志</b>, 酒井 俊典, 宮地 良典, 川畑 大作, 正田 大輔</p> <p>16:30~16:45 <b>T11-O-12</b> 関東地下水盆のモニタリングと地盤沈下現況. *<b>香川 淳</b>, 古野 邦雄</p> <p>16:45~17:00 <b>T11-O-13</b> 世界の地盤沈下の概況（その2）ヨーロッパ地域. *<b>藤崎 克博</b></p> <p>17:00~17:15 <b>T11-O-14</b> PFAS指針値（暫定）超過現場で実施した井戸諸元調査等に基づく水文地質構造の推定（速報）. *<b>田村 嘉之</b>, 河野 里奈, 岩井 久美子, 木村 和也</p>	<p>15:00~15:15 <b>T7-O-1</b> 前弧・背弧・前縁堆積盆の長周期・短周期テクトニックサイクルと堆積システムの変化. *<b>高野 修</b></p> <p>15:15~15:30 <b>T7-O-2</b> 諏訪湖の表層コア試料から見た諏訪湖の堆積作用. *<b>公文 富士夫</b>, 葉田野 希</p> <p>15:30~15:45 <b>T7-O-3</b> 瀬戸内海沿岸域における津波堆積物の探索：香川県東かがわ市引田地区大池の湖底堆積物調査. *<b>寺林 優</b>, 卜部 厚志, 酒井 英男, 金田 義行, 松居 俊典</p> <p>15:45~16:15 <b>T7-O-4 (招待講演)</b> 海底のイベント堆積物を用いた地震履歴研究の現状と今後のチャレンジ：日本周辺海域の研究から. *<b>池原 研</b></p> <p>16:15~16:30 休憩</p> <p>16:30~16:45 <b>T7-O-5</b> 三浦半島に分布する葉山層群から産出した生痕化石Tasselia ordamensisのコンクリーション化過程. *<b>菊川 照英</b><sup>ECS</sup>, 高橋 聡, 阿部 理, 浅原 良浩, 古川 登, 吉田 英一, 勝田 長貴, 相田 吉昭</p> <p>16:45~17:00 <b>T7-O-6</b> 小笠原沖産シロサンゴおよびモモイロサンゴ骨格の地球化学的解析による成長史の復元. *<b>奥村 知世</b>, 平川 史也, ベピノ マリア マリヴィック, 松崎 琢也, 池原 実, 川合 達也, 石川 剛志</p> <p>17:00~17:15 <b>T7-O-7 (エントリー)</b> 長野県白骨温泉に分布する化石トラバーチンの堆積学的・地球化学的特徴と形成過程の解明. *<b>清原 愛</b>, 狩野 彰宏, 加藤 大和, 戸丸 仁, 白石 史人</p> <p>17:15~17:30 <b>T7-O-8</b> 掛川層群から産する魚類耳石化石の炭酸凝集同位体記録を利用した前期更新世古水温復元と古汽水湖の存在の示唆. *<b>加藤 大和</b>, 仙田 量子, 狩野 彰宏</p> <p>17:30~17:45 <b>T7-O-9</b> 鹿児島県喜界島における上部更新統サンゴ礁複合体堆積物の堆積過程. *<b>松田 博貴</b>, 佐々木 圭一, 得重 和希, 熊谷 優香, 林田 将英</p>	<p>15:00~15:15 <b>T13-O-1 (エントリー)</b> 北海道蝦夷層群のチューロニアン/コニアシアン境界における大型化石・炭素同位体比統合層序と高精度国際年代対比. *<b>高橋 恒佑</b>, 高嶋 礼詩, Walaszczyk Ireneusz, 山中 寿朗, 都丸 大河, 黒柳 あずみ</p> <p>15:15~15:30 <b>T13-O-2</b> 房総半島南端に分布する海成鮮新-更新統を用いた磁気層序-海洋同位体層序の精密対比. *<b>岡田 誠</b>, 谷元 瞭太, 小塚 大輝, 小西 拓海, 柚原 涼花, 長友 大輝</p> <p>15:30~15:45 <b>T13-O-3</b> 房総半島の下部更新統千倉層群と上総層群下部における古地磁気逆転境界の層位と広域テフラ. *<b>小西 拓海</b>, 岡田 誠, 宇都宮 正志</p> <p>15:45~16:00 <b>T13-O-4</b> 三浦半島南部に分布する上総層群林層（下部更新統）から見いだされた大峰-SK110テフラ. *<b>野崎 篤</b>, 塩井 宏幸, 笠間 友博, 西澤 文勝, 柴田 健一郎</p> <p>16:00~16:15 休憩</p> <p>16:15~16:30 <b>T13-O-5</b> 掛川層群堀之内層におけるガウス-松山古地磁気境界 *<b>羽田 裕貴</b>, 中谷 是崇, 水野 清秀</p> <p>16:30~16:45 <b>T13-O-6</b> 栗原市荒砥沢地滑り岩体を構成する凝灰岩の給源カルデラ. *<b>高嶋 礼詩</b>, 水戸 悠河, 岡本 正則, 原田 拓也</p> <p>16:45~17:00 <b>T13-O-7</b> 秋田沖第四系の高精度微化石層序から探る第四紀古海洋変動. *<b>瀬戸口 怜子</b>, 今井 利矩, 佐藤 時幸</p> <p>17:00~17:15 <b>T13-O-8</b> 古田沢湖層の年代と大型植物化石から見たMIS3期の環境変化. *<b>矢部 淳</b>, 植村 和彦, 植田 弥生, 五井 昭一, 百原 新</p> <p>17:15~17:30 <b>T13-O-9</b> ポットホルの節理による構造規制とその生成機構：和歌山県古座川町「滝の拝」の例. *<b>木村 克己</b>, 金子 誠, 山本 俊哉</p>

※講演番号は、トピックセッション (T)、ジェネラルセッション (G) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※ \* 太字氏名：代表発表者, (エントリー)：学生優秀発表賞エントリー講演, <sup>ECS</sup>ダイバーシティ認定ロゴ [Early Career Scientist]

第132年学術大会（2025熊本大会）講演プログラム（口頭）

■9月16日（火）午前

会場	第1会場（全学E棟1階・E105）
	<b>T14. 九州の火山テクトニクス</b>
	座長：辻智大(山口大学), 大橋聖和(産業技術総合研究所), 大坪誠(産業技術総合研究所地質調査総合センター), 辛島康大(山口大学)
8:45	08:45~09:15 <b>T14-O-1 (招待講演)</b> 地震波トモグラフィーから見た九州の地震火山活動と沈み込みダイナミクス. * <b>趙大鵬</b> 09:15~09:30 <b>T14-O-2</b> 八重山海底地溝におけるマグマ貫入構造の空間変化: 反射法地震探査による考察. * <b>新井隆太</b> , 三澤文慶, 大坪誠, 木下正高, 石野沙季, 山本朱音 09:30~09:45 <b>T14-O-3</b> 霧島山新燃岳2025年噴火の火山灰構成粒子の時間変化(速報). * <b>木尾竜也</b> , 宮城磯治, 東宮昭彦, 岩橋くるみ, 及川輝樹, 松本恵子, 古川竜太, 草野有紀, 山崎誠子, 風早竜之介, 篠原宏志, 池永有弥, 新谷直己, 石塚吉浩 09:45~10:00 <b>T14-O-4</b> 九州中部全体を横ざれ引張テクトニクスで説明する. * <b>大橋聖和</b> 10:00~10:15 <b>T14-O-5 (エントリー)</b> 阿蘇カルデラ南西壁の地質から推定する大分-熊本構造線の活動場の変遷. * <b>辛島康大</b> , 辻智大 10:15~10:30 休憩 10:30~11:00 <b>T14-O-6 (招待講演)</b> 中部九州阿蘇地域におけるマグマ活動の時間変化とそのテクトニクス背景. * <b>三好雅也</b> , 角野浩史, 仙田量子, 佐野貴司, 新村太郎, 古川邦之, 川口允孝, 長谷中利昭 11:00~11:15 <b>T14-O-7</b> 布田川断層を貫通したボーリング孔における深度300m以深の断層破碎帯内の亀裂を充填する粘土. * <b>澁谷奨</b> , 林為人, 神谷奈々 11:15~11:30 <b>T14-O-8 (エントリー)</b> 布田川断層周辺部の地質構造と阿蘇4火砕堆積物の標高対比による断層運動の検討. * <b>改原玲奈</b> , 辻智大, 大橋聖和, 澁谷奨 11:30~11:45 <b>T14-O-9</b> 更新統唐戸層のテフラ層序から制約される姫島火山群の活動時期. * <b>納谷友規</b> , 水野清秀, 堀内悠 11:45~12:00 <b>T14-O-10</b> 琉球弧に沈み込むスラブ内応力の不均一性が支配する脱水経路と火山活動への影響. * <b>大坪誠</b> , 宮川歩夢

会場	第2会場（全学E棟1階・E107）
	<b>T5. 沈み込み帯・陸上付加体</b>
	座長：奥田花也(海洋研究開発機構), 細野日向子(国立研究開発法人産業技術総合研究所), 細川貴弘(高知大学)
	08:45~09:15 <b>T5-O-1 (招待講演)</b> IODP Expedition 405 JTRACKの成果. * <b>氏家恒太郎</b> , 小平秀一, Conin Marianne, Fulton Patrick, Kirkpatrick Jamie, Regalla Christine, 奥津なつみ, 前田玲奈, Toczko Sean, 江口暢久, IODP第405次航海乗船研究者一同 09:15~09:30 <b>T5-O-2 (エントリー)</b> IODP Exp. 405 JTRACK掘削地点の放散虫化石層序: 日本海溝近傍の前縁プリズムおよび沈み込む海洋プレートについて. * <b>萩野稜</b> , 岩井雅夫, CONIN Marianne, FULTON Patrick, KIRKPATRICK Jamie, 小平秀一, REGALLA Christine, 氏家恒太郎, 江口暢久, 前田玲奈, 奥津なつみ, TOCZKO Sean, IODP Exp.405乗船研究者一同 09:30~09:45 <b>T5-O-3</b> IODP Exp.405 JTRACK掘削孔の珪藻化石層序: 2011年東北沖地震浅部破壊領域の先端プリズム構造. * <b>岩井雅夫</b> , 萩野稜, IODP Exp.405乗船研究者一同 09:45~10:00 <b>T5-O-4</b> 日本海溝に沈み込む太平洋プレート上のチャートと玄武岩: IODP第405次航海の新知見. * <b>山口飛鳥</b> , Bellanova Piero, Brunet Morgane, Chang Yu-Chun, Pizer Charlotte, 福地里菜, Gough Amy, Nicholson Uisdean, 奥田花也, Conin Marianne, Kirkpatrick Jamie, 小平秀一, Fulton Patrick, Regalla Christine, 氏家恒太郎, 前田玲奈, 奥津なつみ, IODP第405次航海乗船研究者 10:00~10:15 <b>T5-O-5</b> 浅部沈み込み帯における巨大地震後の断層帯の強度回復過程-JTRACK・JFASTの水理特性に関する掘削データの比較-. * <b>細野日向子</b> , 濱田洋平, 奥田花也, 大坪誠, 谷川亘, 廣瀬丈洋, Conin Marianne, Fulton Patrick, Kirkpatrick Jamie, 小平秀一, Regalla Christine, 氏家恒太郎, 江口暢久, 前田玲奈, 奥津なつみ, Sean Toczko 10:15~10:30 <b>T5-O-6 (エントリー)</b> 微細構造観察に基づく地震サイクル間の動的な岩石-流体間反応: 白亜系四万十帯牟岐メランジュ・南阿波断層. * <b>細川貴弘</b> , 橋本善孝, Rüdiger KILIAN, Michael STIPP 10:30~10:45 <b>T5-O-7 (エントリー)</b> 海山沈み込み・付加に伴うプレート境界断層の変形: 美濃帯舟伏山ユニットの例. * <b>多久和風花</b> , 山口飛鳥, 大坪誠, 志村侑亮, 奥田花也 10:45~11:00 休憩 11:00~11:15 <b>T5-O-8</b> 物性不均質ジオメトリが規定する応力・歪み分布の時空間変化とスケーリング. * <b>橋本善孝</b> 11:15~11:30 <b>T5-O-9 (エントリー)</b> 沈み込み帯震源域における地殻の弾性率分布と地震発生帯への影響. * <b>高慎一郎</b> , 濱田洋平, 奥田花也, 田村芳彦, 坂口有人 11:30~11:45 <b>T5-O-10</b> 地震発生帯の岩石の弾性的性質: スケール依存性および地震発生プロセスへの影響. * <b>奥田花也</b> , 赤松祐哉, 北村真奈美, 澤井みち代 11:45~12:00 <b>T5-O-11</b> 断層沿いの短時間発熱による硫黄の減少とその行方. * <b>山本由弦</b> , 小林唯乃, 福山繭子, Bowden Stephen, 濱田洋平, 三村匠海, 千代延俊 12:00~12:15 <b>T5-O-12</b> 四国沖外縁隆起帯のネオテクトニクス. * <b>芦寿一郎</b> , 照井孝之介 12:15~12:30 <b>T5-O-13</b> 日向灘の地形的・熱学的特徴 -KS-21-08およびKS-25-03航海報告-. * <b>木下正高</b> , 土岐知弘, 橋本善孝, 濱田洋平, KS-21-08航海研究者, KS-25-03航海研究者

会場	口頭第3会場（全学E棟2階・E201）
	<b>T4. 岩石・鉱物の変形と反応</b>
	座長：向吉秀樹(鳥根大学), 宇野正起(東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻), 福田惇一(大阪公立大学)
	08:45~09:00 <b>T4-O-9 (エントリー)</b> カルシオカーボナタイト形成プロセスと酸化還元状態: バンダヒル産カーボナタイトの例. * <b>梅宮穂花</b> , 辻森樹, ポニフェイスネルソン 09:00~09:15 <b>T4-O-10 (エントリー)</b> 脆性-延性遷移領域における変形組織とスロー/ファスト地震の統計性との関係: ゲル粒子-粘性流体混合系の剪断アナログ実験. * <b>佐々木勇人</b> , 桂木洋光 09:15~09:30 <b>T4-O-11 (エントリー)</b> 固体圧式変形試験機による高封圧条件下における精密応力決定: 大理石の変形実験への適用. * <b>永井嵩也</b> , 清水以知子 09:30~09:45 <b>T4-O-12 (エントリー)</b> 流通式水熱実験による斑れい岩の熱水変質に伴う元素移動と置換組織の発達. * <b>鈴木康平</b> , ダンダルオトゴンバヤール, 岡本敦 09:45~10:00 <b>T4-O-13</b> 粒成長に伴う流体移動: 樟脳-エタノールを用いた透視実験. * <b>福田惇一</b> , 瀬戸雄介 10:00~10:15 <b>T4-O-14 (招待講演)</b> 火星表層環境の再現を目指した実験装置の整備と今後の研究展望. * <b>亀田純</b> , Ruj Trishit 10:15~10:30 休憩 10:30~10:45 <b>T4-O-15 (エントリー)</b> 三波川帯におけるマイクロブーディン構造を用いた応力・歪解析. * <b>外山和也</b> , 道林克禎 10:45~11:00 <b>T4-O-16</b> 低変成度泥質片岩の石英曹長石レイヤの変形組織: 中部地方淡川地域三波川帯の例. * <b>片桐星来</b> , 道林克禎 11:00~11:15 <b>T4-O-17 (エントリー)</b> 石英の変形再結晶組織におけるタイプP/S遷移の定量的指標とその要因. * <b>中小路一真</b> , 清水以知子, 道林克禎 11:15~1:30 <b>T4-O-18</b> Co-seismic ductile deformation in carbonate-hosted active faults. * <b>Thomas Yeo</b> Kohtaro Ujii Kaoru Inoue Takayoshi Nagaya Hirauchi Ken-ichi 11:30~11:45 <b>T4-O-19</b> 根尾谷断層極浅部における自形方解石, バライトと摩擦発熱. * <b>大谷具幸</b> , 前田剛志, 吉田拓海 11:45~12:00 <b>T4-O-20</b> cleavable olivineからわかる地質学的に重要なこと. * <b>安東淳一</b> , 富岡尚敬, 前川寛和

\*講演番号は、トピックセッション (T)、ジェネラルセッション (G) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

\*講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

\* \*太字氏名: 代表発表者, (エントリー): 学生優秀発表賞エントリー講演, **ECSS** ダイバーシティ認定ロゴ [Early Career Scientist]

第132年学術大会（2025熊本大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月16日（火）午前

会場	第5会場（全学E棟2階・E205）	第6会場（全学E棟3階・E305）	第7会場（全学C棟3階・C301）
	<b>T7. 堆積地質学の最新研究</b>	<b>T13. 地域地質・層序学：経過と集大成</b>	<b>G. ジェネラルサブセッション海洋地質</b>
	座長：足立 奈津子(大阪公立大学), 澤田 大毅(石油資源開発株式会社)	座長：細井 淳(茨城大学理学部地球環境科学領域), 内野 隆之(産業技術総合研究所・地質調査総合センター), 金指 由維(弘前大学), 辻野 匠(産業技術総合研究所・地質調査総合センター)	座長：松崎 賢史(東京大学大気海洋研究所), 三澤 文慶(産業技術総合研究所)
8:45	08:45~09:00 <b>T7-O-10</b> 微生物によるペロイド形成過程解明の試み。*白石 史人, シュテンゲル ハネス, 田中 秀明, 柳川 勝紀, 富岡 尚敬, 高橋 嘉夫	09:00~09:15 <b>T13-O-10</b> 南部北上帯, 水上花崗岩類中に分布する壺の沢変成岩のジルコンU-Pb年代と形成機構。*内野 隆之, 常盤 哲也	10:00~10:15 <b>G-O-32</b> 古環境指標としての磁性細菌起源マグネタイト。*山崎 俊嗣
	09:00~09:15 <b>T7-O-11 (エントリー)</b> 上部ジュラ系~下部白亜系鳥巢式石灰岩の形成要因。*鬼頭 岳大 <sup>ECSS</sup> , 中田 亮一, 狩野 彰宏, 白石 史人	09:15~09:30 <b>T13-O-11</b> 東アジア先ジュラ紀ニッポニデス造山帯の一部としての黒瀬川帯：銚子半島の三疊紀付加体の地体構造上の意義。*磯崎 行雄, 堤之恭, 岩本 直哉, 上田 脩郎	10:15~10:30 <b>G-O-33</b> 海域を震源とする地震イベント直後の海域調査はなぜ重要なのか？*池原 研, 佐川 拓也, ジェンキンス ロバート
	09:15~09:30 <b>T7-O-12 (エントリー)</b> Sedimentological and geochemical characteristics of Mesoproterozoic Chitrakoot Formation, lower Vindhyan Supergroup, central india: Implication on paleoenvironment。*Abhishek Kumar Pandey <sup>ECSS</sup> , Partha Pratim Chakraborty, Ryoichi Nakada, Akihiro Kano, Fumito Shiraishi	09:30~09:45 <b>T13-O-12</b> 高知県物部地域上部ジュラ~下部白亜系美良布層の層序, 年代および形成過程。*森野 善広	10:30~10:45 <b>G-O-34</b> 「しんかい6500」による黒島海丘の地質学的成果とその意義—黒島海丘は泥火山か？*川村 喜一郎, 川口 昂大, 堤 桃子, 三澤 文慶, 浅田 美穂, 高井 研
	09:30~09:45 <b>T7-O-13</b> スターチアン氷期シークエンスに含まれる炭酸塩岩と鉄質堆積物。野田 舜, 矢部 志織, *狩野 彰宏	09:45~10:00 <b>T13-O-13</b> 丹沢・御坂山地の層序および衝突・付加の再検討（続報—凝灰岩層に含まれるジルコンの形成年代について）。*西川 正, 白井 香奈江, 堀内 一利, 豊田 淳子, 千葉 達朗	10:45~11:00 <b>G-O-35</b> 海洋天然水素ポテンシャルの考察 —東北沖アウターライズの例—。*倉本 真一
	09:45~10:00 休憩	10:00~10:15 休憩	11:00~11:15 <b>G-O-36 (エントリー)</b> 千島海溝アウターライズにおける底層流と地形効果によって形成されたコンターライト・ドリフト。*池田 尚史, 川村 喜一郎
	10:00~10:30 <b>T7-O-14 (招待講演)</b> 九州地域の天然水素ポテンシャル評価について。*山田 泰広	10:15~10:30 <b>T13-O-14 (エントリー)</b> 青森県下北半島西部, 佐井地域に産する中新世火山岩類の産状とジルコンU-Pb年代。*金指 由維, 折橋 裕二, 竹森 瑞葉, 岩野 英樹, 仁木 創太, 佐々木 実, 盛合 秀, 浅原 良浩, 天野 格, 梅田 浩司, 平田 岳史	11:15~11:30 <b>G-O-37</b> 駿河湾奥部富士川—田子の浦沖にかけての海底地形・地質特徴。*新井 仁菜, 佐藤 悠介, 柴尾 創士, 山本 玄珠, 石塚 治, 岡村 聡, 横山 由香, 平 朝彦, 坂本 泉
	10:30~10:45 <b>T7-O-15</b> 古気候変動, 堆積・続成作用, および油田形成の相互作用により生じた下部白亜系干潟炭酸塩岩 (Tidal flat carbonates) の孔隙率・浸透率の不均質性。*山本 和幸, 門谷 弘基, Alsabeai Jawaher, Alshamsi Suad, Mosekiemang Goitse, 高柳 栄子, 井龍 康文	10:30~10:45 <b>T13-O-15</b> 青森県下北半島東部上部中新統の地質と放射性年代。*中満 隆博, 須藤 浩一, 三和 公	
	10:45~11:00 <b>T7-O-16 (エントリー)</b> 岩手県久慈層群における炭化水素資源ポテンシャルの堆積学・有機地球化学的再検討。*山岸 昇玄 <sup>ECSS</sup> , 安藤 卓人, 千代延 俊	10:45~11:00 <b>T13-O-16 (エントリー)</b> 下北半島, 鮮新世~前期更新世大畑層分布域に新たに見出された複合カルデラの地質構造：産状, 岩石学的特徴, およびジルコンU-Pb年代からの制約。*吉田 颯, 折橋 裕二, 佐々木 実, 金指 由維, 岩野 英樹, 梅田 浩司, 天野 格, 平田 岳史	
	11:00~11:15 <b>T7-O-17</b> 化学堆積学シーケンスからみたベンガルファンの有機物堆積過程。*児玉 祐輔 <sup>ECSS</sup> , 安藤 卓人, 沢田 健	11:00~11:15 休憩	
	11:15~11:30 <b>T7-O-18 (エントリー)</b> 北海道幌向川に分布する中新統川端層の有機物に富むタービダイト層の堆積学的調査。*山田 陽翔, 沢田 健	11:15~11:30 <b>T13-O-17</b> 栃木県茂木町周辺に分布する中川層群山内層と茂木層の層序関係と年代。*細井 淳, 小坂 日奈子, 岩野 英樹, 檀原 徹, 平田 岳史	
	11:30~11:45 <b>T7-O-19</b> 蝦夷層群羽幌川層堆積岩のバイオマーカー分析によるコニアシアン-サントニアン期の堆積環境復元。*高橋 温, 中村 英人, 池田 雅志, 安藤 卓人, 沢田 健, 高嶋 礼詩, 西 弘嗣	11:30~12:00 <b>T13-O-18 (招待講演)</b> 山陰東部, 中新統北但層群における地域地質・層序学的基礎研究：最近10年の進展と残る課題。*羽地 俊樹	
	11:45~12:00 <b>T7-O-20</b> ベトナム北東部デボン紀-石炭紀境界堆積岩におけるバイオマーカーを用いた古環境復元。*四木 りさ, 沢田 健, 高嶋 礼詩, 小松 俊文		

※講演番号は、トピックセッション (T)、ジェネラルセッション (G) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※\*太字氏名：代表発表者, (エントリー)：学生優秀発表賞エントリー講演, <sup>ECSS</sup>ダイバーシティ認定ロゴ [Early Career Scientist]